

事務事業評価シート

評価対象年度 平成 19 年度

【事務事業の基本的事項】

事 務 事 業 名	産業祭実行委員会負担金					
担 当 課 係 名	農 林 課		政策調整 係		作成者	藤村 一栄
総 合 計 画 で の 位 置 づ け	施策の大綱	特色ある資源を活かした産業創造のまち				総合計画の ページ
	基本計画	特色ある農業の振興				
	主要施策	農産物の販路拡大				63
予 算 費 目	一般 会計	6 款 農林水産業費	1 項 農業費	3 目 農業振興費		
事 業 期 間	平成 17 年度 ~ 平成 年度		新規／継続の区分		継続	
性 質 区 分	☐ 市民サービス ☐ 公共事業 ☐ 施設維持管理 ☒ 補助金 ☐ 内部管理					
根 拠 法 令 等						
事 務 区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務					
運 営 方 法	☐ 直 営 ☐ 直営（一部民間委託） ☐ 民間委託(全部) ☒ 補 助					

【事務事業の実施内容】

事業の対象 (誰のため・何を)	市民に農林水産物の理解と商工業関係者の活動を紹介する
事業の目的・意図 (どういう状態にしたいのか)	あらゆる産業に関係する市民が一堂に会し、明日の産業の振興と商工業の躍進に寄与することを目的とする。
事業の内容 (どのような業務、活動を行うのか)	農林産物や加工品の展示、販売、商店や関係機関の出店、木の実の工作会等のイベント、企業展、

【事務事業の推移】

(単位：千円)

	項 目		単位	18年度実績	19年度実績	年度実績	
効果	活動指標	出品点数	点	515	485		
		出店販売額	千円	3,307	2,517		
	成果指標						
		出店数	件	30	30		
投下コスト	項 目		総事業費	18年度決算額	19年度決算額	年度決算額	
	事業費（人件費を除く）(A)			1,500	1,500		
	財源内訳	国 庫 支 出 金					
		県 支 出 金					
		地 方 債					
		そ の 他					
		一 般 財 源		1,500	1,500		
	人 件 費 (B)		—	2,356	2,421		
		職 員 数	—	0.3	0.3		
		職 員 平 均 人 件 費	—	7,853	8,071		
	(A) + (B) 投下コスト		—	3,856	3,921		
	単位コスト	活動指標1単位当たりコスト (円)		—	7,487	8,085	
				—	1,166	1,558	
		市民1人当たりのコスト(円)		—	121	125	

【事務事業の今までの成果】

市町村合併してから、本年度で第4回を数えるが、開催地の選定で難儀をしており、開催の周知と誘客の方法に苦労している。

【事務事業を取巻く環境】

国・県・他自治体の動向	他の市町村でも開催しているが、大仙市は合併前の町村単位で、美郷町は旧仙南村、北秋田市は鷹巣町で開催している。
事業に対する市民の意見 (事業に対する期待、要望、苦情等)	市町村合併してから、本年度で第4回を数えるが、開催地の選定で難儀をしており、開催の周知と誘客の方法に苦労している。

【一次評価】

判 定	事 業 の 方 向 性		判 定 に 至 っ た 理 由
C	A	現状のまま継続（実施）	農産物の出展数の増加に結びつく方法が見つかからない。文化祭との同時開催や開催地の持ち回りを含めて検討する。
	B	見直しの上で継続（実施）	
	C	大幅な見直しの上で継続（実施）	
	D	休止・廃止（統合を含む）を検討する事業	

※一次評価の判定がB～Dのときは、下記に必ず記入すること。

【具体的な今後の取組内容（改善の方向性、対象、意図、手段等について記載すること。）

誘客（＝出店者1店舗当たりの販売額）と農産物等の出品数を伸ばすため、立地や文化祭との合同開催などを検討する。

【二次評価】

判 定	判 定 に 至 っ た 理 由
C	市民に農林水産物の理解と商工業関係者の活動を紹介する事業として、開催地や開催方法など検討を進め事業を定着させていくことが必要と考えます。

一次評価診断図

